

八王子千人同心日光往還ウォーク第24回（最終回）レポート

第24回（最終回）田島駅から佐野駅

実施日 2023（令和5）年5月10日（水） 天候 晴れ

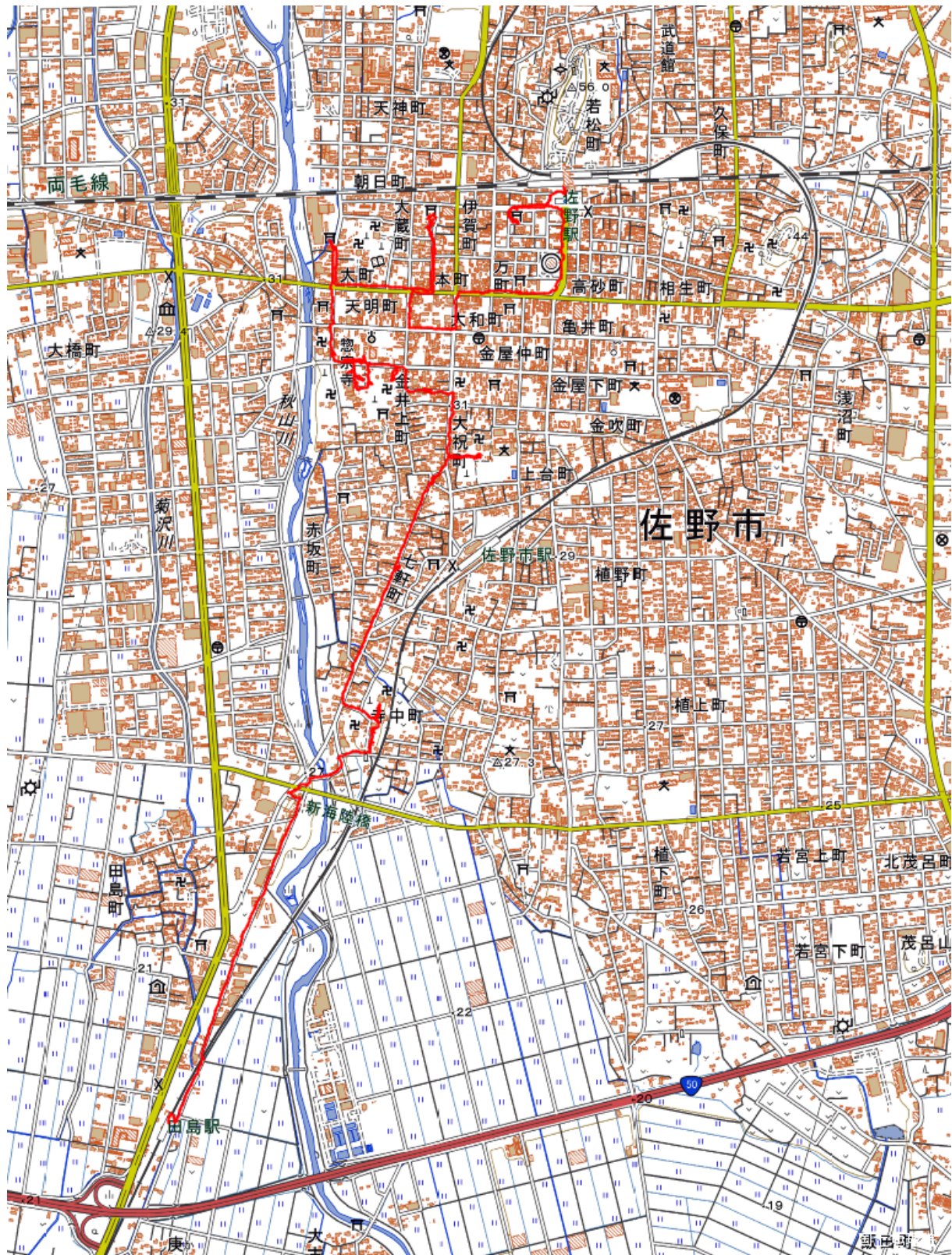
参加者 折本 文雄、前北 勝司、中田 信義、中島 征雄 計4名

GPSデータ

歩行距離：7.3km。累計歩行距離 223.6km。

全体所要時間：2時間57分。移動時間：2時間05分。停止時間：52分。

移動平均速度：3.47km/h。全体平均速度：2.45km/h。



今回も晴れ。今年実施日は全て天候に恵まれた。10時12分、東武佐野線田島駅を出発。線路に沿って北へ向かう。佐野線の踏切を渡り、真っ直ぐな道を淡々と進む。右側に秋山川の堤防が近づいてくると新海陸橋の県道が見えてくる。県道には直接は行けないので突き当たりで左折し車道に出て県道270号線を渡る。(10:33) 県道の新海陸橋の上流にある人専用橋を渡って左カーブして堤防を下り、右折すると右側に小山の公園がある。「古墳みたいだな」と話をしていたが、帰ってから調べると「亀の子山古墳」という古墳であった。その古墳の前に臨済宗の「亀峰山 東光寺」がある。(10:18~49) 当山の本尊は最澄が自ら彫刻した7体の薬師如来像の5番目のものという。鎌倉時代の天台宗から臨済宗に改宗、江戸時代には佐野藩藩主堀田家の領内菩提寺として庇護された。南側から「山門」「仁王門」「薬師堂」「中門(なかもん)」「本堂」と列ぶ。中門は明治維新に廃藩置県により廃城となった植野城(堀田佐野城)の大手門(表門)を移設したもの。

車道(日光往還)に出て佐野市駅方面への道を右に分けて直進すると「普門院」がある。(10:58) 本尊は天明(てんみょう) 鋳物師の仏師等によって鋳造された栃木県重要文化財の銅製の「鏡延命地蔵半跏像」。江戸時代中期の天明鋳物師達の傑作。

日光往還を進むと右手の道の角に「道標」がある。(11:04) 「右 たてばやし カワまた」「左 まかど こいな?」とある。

その先で右からの道に合流して、直ぐの右手に「宝龍寺」がある。(11:09~15) 浄土宗の寺で、「子育て吞龍」と呼ばれ尊敬された吞龍上人が9年間住職をされた。参道に高さ4m強の「銅製阿弥陀如来坐像」が鎮座している。元禄年間に天明の鋳物師の作。

街道(日光往還)を進み、「金山神社」の案内板に従って左折した路地の奥に「金山神社」がある。(11:20~24) 先に進もうとした時に、住人から「神社由緒記を持っていましたか」と声をかけられ、取りに戻ると、「鳥居は船を造る鉄鋼製である」との説明があり。

車道に出て直ぐに「観音寺」がある。(11:26~30) 当寺の宗派は真言宗豊山派で、境内に佐野市指定文化財の「佐野大仏」が祀られている。佐野大仏・銅製阿弥陀如来坐像は江戸時代初期徳川家、佐野家の他近在の信徒達の発願により天明鋳物師3名合作で建立された。像高313cm。

観音寺の西隣に「佐野厄除け大師惣宗寺」がある。(11:36~46) 当寺は「春日岡山転法輪院惣宗官寺」といい、創建は天慶七年(944) 平将門の乱を平定した藤原秀郷(俵藤太)が開基となり宥尊上人を招いて佐野の春日岡(現在の城山公園)に春日明神の社殿とお寺を建立したのが始まり。

平安時代末期の保元・平治の乱の兵火で多くの堂宇が焼失、衰退したが、鎌倉時代後期に再興、伏見天皇の勅願寺に定められる。その後は領主の佐野氏の庇護もあり栄える。

佐野氏の居城「唐沢山城」は江戸城を俯瞰できることなどから慶長7年(1602)、幕府から廃城を命じられた佐野信吉(藤原秀郷から三十代)は惣宗寺があった春日岡の改めて佐野城を築城することとなり、惣宗寺は現在地に移された。

佐野信吉は慶長19年(1614)に改易で松本藩に配流され、庇護者を失うが、元和2年(1616)に徳川家康が駿府で死去すると遺言により遺骸は一旦久能山に葬り翌元和3年(1617)、久能山から日光(日光東照宮)に改葬、その際、惣宗寺の境内が遺骸の宿所となった。文政11年(1828)、幕府が境内に東照宮を造営。足尾銅山鋳毒事件の田中正造の本葬が大正2年(1913)10月12日当惣宗寺で行われた。(遺骨は当寺を含め6カ所に分骨)

惣宗寺を出て、向かいにあるラーメン店・大師庵で佐野名物佐野ラーメンを食べる。(11:49~12:13)

昼食後、車道を西へ。直ぐの交差点を右折。直ぐ左に「日限(ひぎり)地蔵」がある。(12:15~17) 日限は日を決めて願いをかければ必ずその日までに願いが叶うという意味。

北上し、次の十字路で左から来た例幣使街道と合流し、合わさって直進（北行）する。その先の県道67号線で例幣使街道は右折。我々は直進。120～300m先左側に「熊野神社」がある。（12：22～24）社殿の右裏に「勤王の志士 出流天狗殉難碑」がある。出流天狗殉難とは江戸時代末期の大政奉還後、出流山満願寺で尊皇倒幕の志士一団が挙兵。幕府軍と戦闘を繰り広げ、倒幕志士方は破れ壊滅。捕縛された48名が佐野秋山川で処刑された。碑は処刑された志士を悼み建立された。

県道67号線に戻り左折。例幣使街道を300m弱進んだ左側に古民家が3軒並んでいる。（12：30）右端の見世蔵の味噌まんじゅう屋「新井屋」の角を曲がったところに「黒塗りの土蔵」がある。（12：32）

その道の奥に「星宮神社」の参道入口があり（12：35）、参道の奥、階段下に「銅製鳥居」があり、階段を上がると社殿がある。社殿のある丘は、古来「ミササギ」称し、古墳である。（12：39）

県道67号線（例幣使街道）に戻り、県道を渡り、裏道を通して日光往還（街道）に出て左折すると千人同心日光往還と例幣使街道の合流点（本町交差点）に着く。（12：50）

千人同心はこの後、例幣使街道と日光街道を通して日光東照宮へ向かった。我々のウオークは一応ここで終了となるが、この後、佐野駅がゴールなので、先に進む。途中、群馬銀行辺りに「天明宿本陣」があったという。次の交差点を左折。佐野市役所脇に「天明鑄物の電話ボックス」がある。

直ぐに佐野駅に着くが、近くの孫太郎神社に向かう。大通りから一本入った所にある小さな神社。（13：03）今を去る千有余年の歴史のある神社で、春日岡佐野城、唐沢山城の守護神であるとして北向きに構える社は全国的にも珍しい。

佐野駅に13時10分に着く。佐野駅自由通路を通して北口に出、そこの春日岡佐野城三の丸を見て東武佐野線佐野駅13時32分発館林行きに乗る。

2020（令和2）年2月に始めた「大山街道八王子道」は途中東松山市東平から八王子までは千人同心日光往還と重なり、2022（令和4）年12月に大山街道八王子道を終了後、東松山し東平から吹上、行田、館林、佐野と日光往還を歩き、今日、例幣使街道と合流。

長いコロナ禍でどうなることかと思いましたが、計画を無事に歩き通す事ができました。

総歩行距離 223.6kmでした。



東光寺薬師堂



宝龍寺銅製阿彌陀如来坐像



観音寺銅製阿弥陀如来坐像



佐野厄除け大師惣宗寺



惣宗寺東照宮唐門



星宮神社



本町交差点 日光往還・例幣使街道合流点



佐野駅前